

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

## ②施設・事業所情報

名称：南林間保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：加藤 法子	定員（利用人数）：86名（83名）
所在地：〒242-0006 大和市南林間7丁目21-26	
TEL：046-278-2662	
ホームページ：http://www.satori-hoikuen.com/ty-minamirinkan/index.html	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2008年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 さとり	
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員： 13名
専門職員	（専門職の名称） 名 保育士：9名
	園長：1名 子育て支援員：1名
	主任：1名 保育補助：1名
	保育士：11名
	事務員・用務員：各1名
施設・設備の概要	（居室数）保育室：3 トイレ：2 調理室：1 事務室： 1
	（設備等）園庭：屋外1

## ③理念・基本方針

## \* 保育理念

子ども一人ひとりを大切にし、保護者との一体感を持ち、地域との交流を深め、愛される保育園を目指す

## \* 保育方針

豊かな人間性と意欲を持った子どもを育成する

## \* 保育目標

1. なんでも意欲的に取り組める子ども
2. 友だちと一緒にいることが楽しく感じる子ども
3. 想像力・創造力の豊かな子ども

## \* 園目標

1. 保護者と保育を通じて子育てを共感し合う
2. 職員同士がお互いを認め合い、助け合い、協力して仕事をする

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

幼児クラスは、週に1回、外部の講師に依頼して体育指導を受けている。身体を動かす楽しさを経験したり、災害時や防犯で自分の身を守るための体力作りを目的としている。子ども達への指導と保育士のコミュニケーションを取る為に、プロジェクトチームを2チーム作った。「食育チーム」と「環境チーム」で、どちらのチームにも副主任がいるのでそこを中心に食育と環境の内容を考えて子ども達におろしてもらう。小さいが畑があるので、ジャガイモやサツマイモ、キュウリなど育てて給食で食べている。

年長児は、月に1回、空手の講師が来て下さり、30分ほど空手の型を指導してもらい心と体を鍛え、礼儀を学んでいる。体育指導や空手を続けることで、少しではあるが体幹が鍛えられ、そのおかげで椅子や床に座っても体が揺れたりじっとしてられないという姿が減ってきたので、話を集中して聞けるようにもなってきた。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年5月20日（契約日） ～ 令和4年2月4日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（2016年度）

#### ⑥総評

◇特に評価の高い点

1) 保育環境が整えられています

広い園庭には砂場や築山、花壇や遊具が設置され、子どもたちは戸外での集団活動を楽しみ、個々に関心のある遊びに熱中しています。年齢や発達段階に応じて、子どもたちの興味や関心事はどんどん変わりますが、園庭には皆が楽しむことができるもので溢れています。園独自の保育目標として掲げる「なんでも意欲的に取りくめる」「友だちと一緒にいることが楽しく感じる」「想像力・創造力の豊かな子ども」に成長するために欠かせない全てが園庭に揃っています。恵まれた環境で子どもたちの自主性に任せた活動を、保育士たちは見守っています。ただ「見る」だけでなく、「見守る」ことで、子どもたち一人ひとりの発育状況を把握して全職員で共有する、子ども中心の保育環境になっています。

2) 地域との交流が適切に実施されています

園では、幼老交流（年3回）や年長児のグループホーム訪問等、地域との交流行事を毎年実施しています。幼老交流は民生委員の参加も得て、地域のお年寄りが園に来所し、年に3回子どもたちと、かるたやお手玉、福笑いなどを共に楽しんで交流しています。グループホームへの訪問は、今年はコロナ禍で実施できていませんが、例年、年長クラスが訪問し、歌などを披露して交流しています。毎週水曜日は園庭解放を実施し、地域の乳幼児と保護者が来所し一緒に遊んでいます。小学生の職場見学や中学生の職業体験を受け入れ、地域の学校とも交流しています。

◇改善を求められる点

1) 事業計画の策定と基本的な運営の改善

事業計画並びに報告書は現在法人本部で各園共に一括して策定・報告されていますが、計画書としての要件の不備や、期末での活動内容の把握等に課題があります。職員等の参画のもと、年間の活動の振り返りを生かした計画が策定され、職員が理解して取り組み、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われて、期末に取組の結果が評価され、次年度の計画策定に生かされることが期待されます。併せて、PDCAサイクルを意識し

た計画書・報告書の書式を整えることも望まれます。

#### 2)保護者とのコミュニケーションの強化

園の保育理念や保育目標を知っている保護者は約半数です。入園時と合わせて、進級時にも保護者懇談会等を実施するなど、直接、理念や方針を訴求する機会を作ることが期待されます。日々の保護者との連絡はICTを活用したスマートフォンでの連絡や、お知らせ文章の配布を行っていますが、保護者からは、要望への対応や家庭との情報共有等のニーズがあります。迎えの際など、園長・主任も含め職員と保護者とが直接会話する機会を増やすことが期待されます。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受けて運営面や保育面で細かい部分を確認することができ、より一層、見通しができました。また、保育目標を達成するためには、職員同士のコミュニケーションが大切で必要だと第三者評価を受けて改めて感じました。

職員としっかりPDCAを話し合い、継続的な保育業務ができるように努めていきたいです。

子ども一人ひとりの育ちや個性も大事にし、保護者の方々とは保育を通じて子育てを共感できるように職員一同、保育に励んでいきます。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり